

平成20年度生活衛生課予算概算要求等の概要

平成19年8月
厚生労働省健康局
生活衛生課

[]内は19年度予算

一 般 会 計	2, 1 2 2 百万円 [1, 768 百万円]
I 生活衛生営業対策	1, 1 3 1 百万円 [1, 044 百万円]
1. 全国生活衛生営業指導センターへの補助	3 4 2 百万円 [340 百万円]
② (1) 生活衛生振興事業助成費	2 3 1 百万円 [230 百万円]
・ 全国生活衛生同業組合連合会及び生活衛生同業組合の自主的な活動を促進し、営業者の振興を図るための事業を引き続き助成するとともに、生活衛生関係営業の課題を踏まえた将来ビジョンを基に、組合の組織化、活性化を図る事業への支援を新たに行う。	
(2) 中央指導員等の確保	6 6 百万円 [65 百万円]
(3) 中央指導員等が行う指導事業及び研修等	4 5 百万円 [45 百万円]
2. 都道府県生活衛生営業指導センターへの補助	7 5 5 百万円 [679 百万円]
(1) 生活衛生関係営業成長力底上げ戦略推進事業費	7 6 百万円 [0 百万円]
「経済財政改革の基本方針2007」における「成長力底上げ戦略」の施策を踏まえ、生活衛生関係営業の課題となっている後継者の確保及び経営の効率化に関する取組を支援するとともに成長力の底上げに資する事業を実施する。	
③ (ア) 後継者育成支援事業	5 9 百万円 [0 百万円]
・ 生活衛生関係営業の経営において課題とされている後継者確保に関する取組を支援するため、若年者を対象に、生活衛生関係営業に対する職業観・勤労観の向上を図り、もって生活衛生関係営業への就職を促進することを目的としたインターンシップ制を導入するためのモデル的事業等を実施する。	
④ (イ) 経営改善推進事業	1 7 百万円 [0 百万円]
・ 大企業の進出等による競争の激化に対して、中小零細である生活衛生関係営業がその地域の実情に即した営業形態へ転換することを支援するため、生産性向上支援会議（仮称）を組織し、事業の共同化、協業化、効率化等の手法を利用者・消費者	

のニーズを踏まえつつ検討して新たな営業形態を構築するとともに、生産性向上特別指導員（仮称）による指導のもとモデル的事業を実施する。

(2) 経営指導員等の確保 430百万円[426百万円]

(3) 経営指導員が行う相談事業、活性化促進事業等 249百万円[253百万円]
・経営基盤整支援等事業を経営改善推進事業に統合

3. 生活衛生営業実態調査費等 34百万円[25百万円]

II 生活衛生資金融資補給金 976百万円[702百万円]

・国民生活金融公庫の生活衛生資金貸付業務に係る補給金

(生活衛生関係 計 2,107百万円[1,746百万円])

III 建築物環境衛生管理策費等 15百万円 [22百万円]

国民生活金融公庫（生活衛生資金貸付）

1. 貸付計画額 1,800億円[19年度1,800億円]

2. 特別貸付制度等の改善

(1) 小企業等設備改善資金特別貸付制度（無担保無保証貸付制度）の貸付限度額の引き上げ及び貸付期間の改善

(2) 振興事業貸付の設備特利品目にAED（自動体外式除細動器）、飲酒運転防止に係る設備を追加